



2023年1月27日

各位

会社名 カナレ電気株式会社
 代表者名 代表取締役社長 中島 正敬
 (コード番号 5819 東証 スタンダード)
 問合せ先 執行役員財務経理部長
 祖父江 秀行
 (TEL. 0561-75-3001)

業績予想値と決算値との差異及び剰余金の配当（期末配当）に関するお知らせ

2022年7月28日に公表しました2022年12月期（2022年1月1日～2022年12月31日）の通期連結業績予想と本日公表の決算値に差異が生じたのでお知らせいたします。また、2022年1月27日開催の取締役会において、下記のとおり2022年12月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年12月期通期連結業績予想数値と実績値との差異（2022年1月1日～2022年12月31日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	10,800	975	1,040	685	円 101 銭 49
今回実績値 (B)	11,167	1,177	1,260	868	128 74
増減額 (B-A)	367	202	220	183	—
増減率 (%)	3.4%	20.7%	21.2%	26.7%	—
(ご参考) 前期実績 (2021年12月期)	10,034	1,010	1,069	681	100 96

2. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2022年1月27日)	前期実績 (2021年12月期)
基準日	2022年12月31日	同左	2021年12月31日
1株当たり配当金	20円 00銭	15円 00銭	17円 00銭
配当金額	134百万円	—	114百万円
効力発生日	2023年3月20日	—	2022年3月22日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

3. 差異の理由

新型コロナウイルス感染症や原油高、原材料価格高のマイナス影響が継続する中、国内では、原材料価格上昇分を販売価格に一部転嫁できたこと加えて、需要を確実に受注するための積極的な営業活動を展開した結果増収となりました。海外では、重要市場である中国において、政府の厳しい新型コロナウイルス対策により営業活動や生産活動が制限され減収減益になったものの、中国を除くアジア地域及び欧米で売上が比較的順調であったことに加え円安が追い風になり、全体では増収増益となりました。結果、2022年7月28日に公表した通期連結業績予想数値と実績数値とで差異が生じました。

また、この通期業績の上振れに伴い、期末配当を5円増配の1株当たり20円といたしました。

以上